

くずまき夏まつり 美しく勇壮な花火に大歓声

町商工会青年部（遠藤考則部長）主催の「くずまき夏まつり」は8月16日、葛巻小学校グラウンドで開催されました。お盆の帰省客も加わり延べ約3,800人が訪れ、葛巻の夏を楽しみました。

会場にはたくさんの屋台が出店し、保育園児による演技やマジックショーが披露されました。また、葛巻小学校と江刈小学校の4～6年生10人が焼きそばや焼き鳥を販売する「学びレッジ」の屋台が設けられ、子どもたちは元気いっぱいに販売体験に励みました。

今回は久慈市山形町で合宿を行っていた大相撲春日野部屋（東京都）に所属する二十山親方（元小結栃乃花）や力士らが訪れ来場者と交流。力士らは小学生との牛乳早飲み大会や盆踊り大会に参加し会場を沸かせていました。

フィナーレは恒例の花火大会。約1,000発の花火が夜空に美しく勇壮な花を咲かせ、観客から大きな拍手と歓声が湧き上がりました。



①大きな拍手と歓声が沸き上がった花火大会 ②春日野部屋の力士と牛乳の早飲みを競う子どもたち ③会場を沸かせたマジックショー ④盆踊りを先導する茶屋場の太鼓衆



会場のおちらこちらで「乾杯」の音が響き渡りました

くずまきワイン&生ビールまつり ワインとビールで気分は最高！

まちなか活性化協議会（吉澤信光会長）主催の「くずまきワイン&生ビールまつり」は7月27日、JRバス葛巻駅構内で開催されました。オープンの午後4時には小雨がちらつきましたが、夕暮れとともに上がり、約1,000人の来場者がくずまきワインと生ビールを満喫しました。

ずらりと立ち並ぶ屋台村、ステージではおなじみとなった「Tommy's Club Band」のライブなども行われ、参加者は真夏の熱い一日を楽しみました。今回は復興支援として、大槌町と田野畑村の商工会青年部を招待。両町村の海産物が販売され、来場者は三陸の海の幸に舌鼓を打ちました。

お知らせ

東日本大震災の土砂系不燃物を受け入れます

町は、東日本大震災で発生した災害廃棄物（推計525万トン）のうち「土砂系不燃物」の受け入れについて、沿岸被災地の一日も早い復興に貢献できるものと考え、9月中旬から12月初旬にかけて受け入れる予定で協議を進めています。

圃農林環境エネルギー課 ☎66-2111 内線143

受け入れる「土砂系不燃物」の概要

- 種類 宮古地区の土砂系不燃物（粉々になったコンクリート片や壁材などが土や砂と細かく混じり合ったがれきで、放射線量などの検査を行い安全性が確認されたもの。
- 受入量 100トン
- 処理方法 町最終処分場へ埋め立てます。



①オープン初日の営業が終わり一安心するくずまき乳製品加工研究会の皆さん ②午前10時半の開店から多くの来客で賑わう店内 ③8種類のジェラートメニュー ④ショーケースに並ぶ葛巻の魅力満載の作りたてジェラート

来店した子どもに感想を聞きました



こまばなな
越場菜菜ちゃん
(盛岡市・本宮小1年)

オープンを知って盛岡市から家族で食べにきました。果実のつぶつぶがおいしいです。



こまや
西村虹哉くん
(葛巻小1年)

チョコとフレッシュミルクのダブルを食べました。甘くておいしいです。また来たいです。

くずまきジェラート・クローバー畑が8月23日オープン。店舗はグリーンテージ近くの国道281号線沿いにあり、午前10時30分の開店と同時に町内外から多くの親子連れが訪れました。同店は、町内の女性酪農家9人で組織するくずまき乳製品加工研究会（中村和子会長）が運営。町の「くずまき型農畜産物加工ブランド力強化支援事業」などを活用し、平成22年度から出店に向けた準備を進めてきました。ジェラートは、搾りたての生乳を使ったミルク味のほか、町内産の果実を使ったイチゴ

や山ぶどうなど8種類を用意。中村会長は「皆さまのおかげで町内初のジェラート店をオープンすることができました。自分たちの家で搾った生乳、町内産の果実を使ったジェラートを一人でも多くの人に味わってほしい」と笑顔で呼びかけました。

《ジェラート》
シングル250円・ダブル300円
《営業日》
毎週金土日、月曜日の祝日
《営業時間》
午前10:30～午後4:30
問い合わせは同店へ
☎68-7571

くずまきジェラート クローバー畑オーフス